

建設廃棄物中間処理施設を見学してきました

令和2年1月15日（木）、諫早市栗面町の前田道路株式会社長崎合材工場にある、建設廃棄物の中間処理施設の見学に行ってきました。

これは農業土木科3年「土木計画」選択生（男子31名、女子1名、計32名）の授業の一環で、建設工事で発生するコンクリート塊やアスファルト・コンクリート塊などの廃棄物が、どのような経路で再生され、新たな骨材として生まれ変わっていくかを知ることが目的としたものです。座学では味わえない機械のダイナミックな動きや、担当者の方のわかりやすい説明のおかげで、生徒からも積極的な質問が出るなど、楽しい時間となりました。

将来は、土木関連の公務員や企業に進む生徒が多いので、今回の見学は必ず役に立つのではないかと思います。学校から片道40分をかけて歩いてきた甲斐がありました。

前田道路様には、私たちのために貴重な時間を作っていただき、誠に有難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



工場の概要の説明



再生されるアスファルト・コンクリート塊



破砕機の迫力に驚いています



再生アスファルトの見本です